

春嵐(しゅんらん)の候

四月に入った途端、強風が吹き荒れる日が多く、外の部活動にも支障をきたしています。避難訓練を実施した時も時折強風が吹きつけ、グラウンドの砂はみんなどこかに吹き飛んで行ってしまった感じがしました。そんな状況下でも、生徒たちは集中力を切らさずに、地区ごとの並び替えまでしっかりと行うことができました。

本校ではこの時期に地区ごとに集まり、顔合わせをし、責任者を決め、災害時の集団下校を想定した並び方を確認します。東日本大震災後、この、住んでいる地区ごとに集まり、顔を合わせる作業はとても大切なことと考えます。

さて、平成30年度がスタートしました。私にとって教員生活最後の1年となります。思えば、教員は自分が小学校に入学して以来、中学校、高校、大学、社会人と、学校と言う世界でしか生きて来ていません。7歳から60歳までの53年間、学校と言う世界でのみ生きてきたのです。これがいいのか悪いのかは議論しませんが、学校以外の世界で生きている人たちから学ぶことは多くあります。例えば私の弟や私の子どもたちは、それぞれ職種は異なりますが、民間企業で営利を求めて闘っています。彼らからもっといろいろなことを学びそれを教育現場で活用したい、と願っています。

12年ぶりの戌年、60年ぶりの戊戌(つちのえいぬ)の年…。戌年は自立心が強い人が多いそうで、いい意味でも悪い意味でも頑固な性格のようです。私は全然頑固だとは自覚していませんが、はたして…。



新入生歓迎会